日あたり山

学校ホームページ　http://www.higashikurume-school01.jp/~minami-e/

令和７年度学校だより
令和７年６月３０日
東久留米市立南町小学校

校　長　　臼井　美佳
TEL　０４２（４６１）２６６２

😊😊😊挨拶行き交う、笑顔あふれる楽しい南町小学校😊😊😊

学校ホームページ

50年の歩みを胸に、未来へ羽ばたく

校長　臼井　美佳

真夏を思わせるような日差しの中、子どもたちは汗をぬぐいながらも、元気いっぱいに校庭を駆け回っています。今年度も３か月が過ぎ、子どもたちは新しい学年や学級での生活にすっかり慣れてきた様子がうかがえます。

さて、本校は今年、開校50周年という大きな節目を迎えます。ここで、本校の校章に込められた思いについて目を向けたいと思います。

昭和50年４月、南町小学校は、隣の第五小学校の仮校舎をお借りして産声を上げました。そのすぐ後５月に決定した校章には、学校の南側に立ち並ぶケヤキの木をテーマにした、深い意味が込められています。開校当初、子どもたちから図案を募集し、それらをもとに当時の図工専科の先生が子供たちの発想や願いを受け止め、まとめあげて完成させたのが今も大切に受け継がれている校章です。４枚のケヤキの葉は、本校を巣立った子どもたちが四方に羽ばたいていく姿を表しています。葉と葉の間は「芽」、葉脈の形は「ケヤキの大木」、中央の円は「種子」を意味し、子供たちが発芽する芽のように大きく成長していくことへの願いを込めて上部が開かれたデザインとなっています。

この校章は、翌６月には校章旗となり、７月５日、子どもたちはこの旗を誇らしげに掲げて、保護者や地域の皆様にあたたかく迎えられながら、行進して新しい学び舎へと入場したと記録に残されています。そして、この日を開校記念日としたそうです。

今年はその開校記念日が50回目となります。そのお祝いとして、７月４日には「開校50周年記念式典」を挙行いたします。また、７月８日には、児童会が中心となって企画・運営する「50周年記念集会・子どもまつり」も開催されます。子どもたちが主体的に関わり、楽しみながら行うこの行事も、南町小らしい温かな取組です。

50周年という節目の年に、私たちはこの校章に込められた思いを改めてかみしめ、これからの教育を見つめ直す大切な時を迎えています。子どもたち一人ひとりが、自分の根をしっかりと張り大空へと伸びやかに成長していけるよう、職員一同、心を込めて支えてまいります。

どうぞこれからも、本校への温かなご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

7月の生活目標

〇ハンカチやタオルを身に付けよう

学校で手を洗った後、きちんとハンカチで手を拭いていますか。また、暑い日はたくさん汗をかきます。そのままにして涼しい教室に入って、体を冷やしてしまっていませんか。

ハンカチやタオルは、毎日持ってくることが大切です。手を拭いたり汗を拭いたりして、いつでも清潔に、気持ちよく過ごせるようにしましょう。

※暑い時期は、こまめに水分を補給することを忘れずに、熱中症を予防していきましょう。